

私の理想の日本女性（新しき世界へ 1972 年 3 月号）

あけはる会の女性のために猛きモノは亡びぬ。おごれるモノは久しからず。無名は永遠なり。G.O.

東洋哲学、無双原理からいうと、男子は△、女子は▽。だから当然、私の理想の女性は次のようなモノになる。

#### 生物学的・生理学的条件

- (1)生物学的には、女性は男子の全く反対で、皮膚はあくまで柔軟で、ジョルジェットかクレプデシンか羽二重の肌ざわり。
- (2)モチロン顔は面長、瓜実型、眉間ひろく、眉あくまでほそく、目は小型でパッチリと「鈴をはり」、黒目は黒曜石の如く、白目は象牙の如く、ハナスジ通り(アグラをかいいたハナ、天文学者のような空向きのハナ、魚のような流線型のハナなどもっての外)。
- (3)耳は福耳、垂珠(タボ)豊かにたれ、耳かざりをつける要サラサラなく、小股がグット深く切れ上って、耳全体はピタリと側面にはめこまれている(耳に小股の切れ上りがなく、足を出しているのは六十年の不作)。
- (4)ハナの下長くひろく(横スジあるはとらず。生殖器官に欠点あり、不妊症多き故なり)、ヒゲなきコト(青黒いヒゲソリアトが見えたら、もう一生夫婦ゲンカがたえない。卵巣や子宮に異変があり、卵巣ホルモンを出さず、男性の睾丸ホルモンを出す証明)。
- (5)手足に男のような細毛あるは不可(ホルモン異常、卵巣が睾丸化している証拠。毛ずねがウスいくつ下を通して見えるような女、手指の背に毛のある娘はゼツタイにペケ品)。
- (6)足はカモシカのように細くしまっていて、何時間正座してもケッシテしびれのきれぬ事(ネリマ大根やサツマイモのような足は、人生というマラソン競走で必敗する。忍耐力ゼロ)。
- (7)メンスは必ず 28 日目に来て、三日でキレイに終る。(月経難や不順、無月経はモチロン絶対不可)
- (8)姉妹が兄弟より多き、あるいは一人子なるは不可。
- (9)逆子は不可。
- (10)ナルベク 10 月から 3 月 3 日までの▽性の月の生れ。(千代女は 2 月、菊舎尼は 10 月。ただし、この条件は生後の食生活で転換可能)。

#### 心理的・社会的・思想的条件

- (1)静かな人、読書、ケイコゴト、手芸、画、習字、音楽の好きな人。
- (2)飽食せぬ人(「女大食なれば夫を剋す」水野南北)

- (3)ゼツタイに怒らない。叱らない、逆らわない、ヒナンしない、抗議しない人。
- (4)万人に慕われる人(ゼツタイニ表面に立たない人、つまり大のハニカミヤ、恥しがり)
- (5)音を立てずに、しかも若アユのようにスマートに働く人。
- (6)料理、ソージ、洗タク、着こなし、つくろい、セイトンのスキナ人。
- (7)簡素白菊の如き人(無口で質素な人)
- (8)忍耐強き人、スベテを甘受する人(好ききらいなき人、ヤサシイコトよりムズカシイコトをスキナ人)
- (9)ウソつかぬコト(オソレをもつ人はミナウそつき)
- (10)新しい思想、人物、技術をスラスラと受け入れ、のぼし、生かすのがスキナ人。

×

ズイ分六カシイ条件であるが、コレは幸せになる条件でもあり、男の子を多く生む条件でもある。これを身につけるヤサシイ、だれにでもできる方法は「食養人生読本」にある。私の母は「いろは」も知らなかったが、上の条件はミナもっていた。

ゲーテの母、リンカーンの母、ワシントンの母、カントの母、エラスムスの母、藤樹の母山陽の妻、仁斎の妻、小泉八雲の妻、スベテノ偉大な人の母や妻は、以上の条件をそなえていた。彼女らは男の子を多く産んだ。若くして死んだ人も少ない。こんな母は五、六才まで子を育てただけで、一生子供を幸福の方へまっしぐらに進ませる。子供はただ日常の母の言行で、人生の理想の条件を習得するモノである。母のない子、母を幼い中に失った人の中に幸せな人が多いコトや、偉大な人が七十になっても母を慕い尊敬しているコトがその証明。その反対に「母親そだち三割引、パパそだち七割引」というコトバがある。

×

女性は陰である。だからアクマデ▽であるべきだ。男性は△である。だからアクマデ△であるべきである。▽とは▽を 51%以上、△とは△を 51%以上もつものである。

▽は創造者である。母である。無条件の愛の化身である。舞台監督である。△は活動者である。俳優であり、闘士である。勇敢で一步もアトに引かない。時には無謀とも、暴漢とも、独裁者とも、タイラントともなる。男は自由、自主、独立、独行、女はスベテを寛容し、水の如く低きにつき、地に入り、万物を育くむ。

△は独立、独行、戦い、傷つき、七転八起血マミレになっても前進するモノ。

▽は寛容、全てを許し、イツクシミ、悲しみ、愛するモノ。▽は絶対、無限、永遠をシンボライズし、△は相対、有限、一生を夢と情熱にやきつくすモノ。つまりモノノアワレを身をもって表現するモノノフ。▽はモノノアワレを抱きしめ、いたわり、新しい生命をふきこみ、又タタカイに送り出す。

▽は無名、△は有名(男児はも空しかるべきよろず世に語りつぐべき名はたてずして!)

ダレも正行の母、仁斎の妻は知らない。リンカーンの母、ゲーテの母もダレー人知らない。しかもスベテノ偉大な人は母の子である。父の子ではない!

女は不幸である。不幸であるが故に幸せな偉大な子を生み育てるのである。「▽は△を生

ず。無名であるが故に有名を生むのである。

女は受け身である。男はハタラキである。男は求め、追い、捕え、征服しなくてはならない。女は求められ、追われ捕えられ征服されなくてはならない。探し求められ、追っかけられない女はアワレである。彼女はゴーマンなのだ。女で男を求め探すモノはケッシテ幸せにはなれない。

男は愛するモノ。スベテを愛するモノ。女は愛されるモノ。万人に愛されるモノ。だから女は万人に愛される資格をスベテ身につけるべきである。まず美しくなくてはならない！男は美しくなくてもよい。むしろミニクイ方がよろしい。

男は万人を愛する自由をもつ。男でスベテノ女を求めないモノは男ではない。スベテノ女というのは、ヨワイ女、アワレナ女、オロカナ女、ウソツキ、トンマ、ミニクイ女、ゴーマンナ女、ニクラシイ女ナドをもふくむ。

しかし、男も女も、その判断力が低劣である限り、必ず愛すべからざるモノを愛し、愛さるべき資格をもたずして、愛されるコトを求める。ここに人生のスベテノ悲劇のモトがある。

しかし、女で愛されるべき資格を十分もちながら、低劣な判断力の男に嫁ぐコトがある。それは悲劇な一生のハジマリである。20年、30年泣かぬ日とてはない一生を送り、揚句のハテニ一人のこされる。或は貧苦のドン底にのこされ、或は悪疾を染されて。

しかし、ソナ不運はスバラシイ子を一人育てるダケでラクに報いられる。アメリカのシェークスピアともいべきアプトン・シンクレヤは(今は85才で、正食しているが)ソナ不幸な母の子である。この世の幸せなんかハカナイものである。ソナモノを求めるコトはアサマシイ、アサハカである。そんな母は必ず不幸に終る。

「表大なればウラもまた大である」。大きな不幸ほど大きな幸福のウラである。むしろ不幸をヨロコビとし、より大きな不幸、より大きな困難を求めるコトこそ、最大の、そして永遠の幸せを身につける唯一の道である。これは男女に共通の条件。(実例一 45年政敵と斗ってツイニ勝ち、首相となり、死後今もなお、全英人に愛されているユダヤ人ディズレリー。カレの妻は11才年上だったが、理想的な女であった。カレの成功はカノ女のオカゲでもあった。)

幸せな生活を与えられたモノは不幸である。コトニ女は。ナゼナラ、「与えられた幸せ」は、借りた幸せと同様、オソカレ早かれ返さねばならない。返さねば必ず消え失せるか、自分が消されてしまう。返すのがおくれるほど利子が大きい。与えられた、或は借りモノの幸せは、自分の力で自分のタメニ、自分がつくった幸せではないから、当然失うか、とり上げられるかする。そして二度と帰ってこない。自分の力で、自分で作ったモノなら、ヨシ失ってもまた作れる。

幸運を望むモノはワザウィなるかな！ソレは自主精神喪失者である。生命力なきモノ、死人である。逆境をえらぶモノ、スペキュレーターのみが自由な人である。

男は有名と自由を求め、女は無名と寛容を与えるモノ。

最大の人物を生み育て上ぐる母、ソレが理想の女性である。

最大の無名、母!ああ偉大なるかな無名の母!日本は女性を最高の母神とする国である。その母神はまた生命の母、豊受大神を最上の神として祀った!

日本は女性を崇敬し、愛慕する世界一のフェミニストの国である。

最も偉大なるモノは無名である。隠身(カクリミ、見えないモノ)である。最も小さきモノ、ハカナキモノ、アワレナルモノ、ワザワイなるモノは、この世で最も大なるモノで有名なモノである。カクリミの最大の見本は内宮と外宮に祀られている、アマテラスとトヨウケの二女神。

×

わが妻となるべき人はいかばかり心やさしきおとめなるらむ(真下)

×

女性は白菊の花一すがしき、清らかさ、静けさ、無口、簡楚、無抵抗、神々しさ、神々の如きヨワサーである。(男はドンヨク、野心、抗争、排他、突進、強情、ゴーマンも許される。女をすてるコトもある。しかし女はそんな男をも愛し、信じ、守り、そだて、世話し、他をかえりみない。カレが自分をすてて他に走っても、彼の女はゼツタイに他の男を知らず、カレの幸せを願いつついつまでも待っている。よしカレが早死にしても、彼女はアトを守ってゆく。絶対の寛容性である。平和である。モチロン、薄情な男はキットおそかれ早かれ戦いに破れ、友にうら切られ、すてられ、傷つき、後悔と絶望のドン底におちて死ぬ。或はカンタンニ殺される一病気や事故で。

アワレナルカナ男、ワザワイなるかな男!シアワセナルカナ女、気高きものよ、汝の名は女!

女は▽である。男は△である!▽は最後にそして永遠に勝つモノである。どんな男をも自由に育てるモノである。女は正食法と無双原理で、ドンナ男をでも好むままに転換し、自由に育てるものである。女は正食法と無双原理でドンナ男をでも好むままに転換する自由を与えられている!!(私は女になりたい。私はドンナ女よりも女らしい条件をもっている。私は女である。私は数千人の子を与えられている。私は私ほど女らしい女にマダ会ったコトがない。母だけは別だが一)。

×

男は愛するモノ、女は愛されるモノ。

万人に愛される女に対しては、ドンナ男でも忠実な、勇敢な騎士になり、命をなげ出す。愛する男はドンナ女をでも貞操な良妻賢母に仕立てるコトが出来る。

しかし人間というモノは年とともに判断力が生長してゆくから(コトニ男は世の荒波にもまれて)、愛される女は、ソレに応じて、愛される資格を向上生長させ、マスマス愛されるようにならなくてはならない。この向上、進歩成長のない女はカナラズ見すてられる。自分が向上し、生長しているのに、男がイツマデモ元の低いレベルにとまっているなら、正しいオイシイ正食料理法と無双原理で、根本的に体質からかえてやればいい。無双原理は

禍を転じて福とする、世界で最も古い、最高の転換の原理(それは鉛を金に、C と O を鉄に転換するぐらいは朝飯前である)だから、ナンデモ出来ないコトはない。山に向いて「海に入れ!」と命ずるコトさえ出来るモノに、不可能と云うモノはない。この無双原理を身につけるコトこそこの人生で最も貴い、最も楽しい修行である。

成長しないモノは生きた人間ではない。成長しながら向上しないモノはない。成長は生々発展スナワチ向上を意味する。だから年とともに向上しないモノはモ一硬化したか、死んだモノである。

年と共に、何年でも何十年でも、マスマス高く、マスマス深く、マスマス広く、向上成長してゆかないモノ、刻々ヨロコビを創造してバラマクことが出来ないモノは、若い間にキビシイしつけをうけなかったモノである。幸せ、ヨロコビ、アリガタサの感覚を萎縮させてしまったモノである。サムサ、ヒモジサ、アツサ、クルシサできたえられたモノは、自らヨロコビ、たのしさ、アリガタサの世界を開いてゆく。

理想的な、幸せな女性を創り出すモノは無双原理による生物学的、生理学的な教育、つまり伝統的な生活である。現在の西洋風、異国伝来の職業的、技術的、キカイ的教育ではぜッタイニ理想的な日本女性は創られない。その証コに欧米の女性を見よ、男性を見よ!

私はモウ 50 年以上、欧米人の生活、人生、精神生活の内幕を見てきたが、未だかつて唯一人の幸せな女性を見たコトがない。(借りた幸せや、もらった幸せという見せかけだけの、物質主義的幸福をもっている女性はある。) )

(「新しき世界へ」 351 号 1965.3.1)